

令和7事業年度

公益財団法人周南市ふるさと振興財団 事業計画

周南市ふるさと振興財団は、個性豊かなふるさとづくりに寄与し、「市民自らが行う地域づくり活動の振興」を図ることを目的に平成4年8月に設立された財団である。

令和6事業年度は、事業の推進体制及びコンプライアンス体制の整備に取り組みながら、「ふるさとづくり推進プランⅣ」に基づく事業展開を行った。また、地域活動と市民活動を併せて紹介する情報誌コネクトの発行や、しゅうなん地域マーケットでの市民活動紹介の機会づくりなど、地域と市民活動の相乗効果を生む事業の組み合わせにも取り組んだ。

令和7事業年度は「ふるさとづくり推進プランⅣ」の最終年度にあたることもあり、プランの総括となるような成果を重視するとともに、次の推進プラン策定に必要な調査研究に努め、今後の5年間に向けた準備の年ともなる1年にしたい。

周南市ふるさと振興財団のビジョン

地域の今とこれからのために、
みんなで手を取り合って
暮らすことができる“ふるさと周南”へ

周南市ふるさと振興財団のミッション

私たちは、
地域の未来に向けた活動を“支える”こと、
人と団体と地域を“つなぐ”こと、
ふるさと周南について“伝える”ことで、
みんなが育ち支えあう、
ふるさとづくり活動に取り組みます。

I 支える ～地域運営を行う組織の基盤づくり～

地域の未来に向けたコミュニティ活動／市民活動を充実していくには、地域運営を行う組織の基盤づくりが必要である。それを「支える」ための事業として、活動のコーディネーターや人材育成、活動への助成を行う。

1. コミュニティ活動／市民活動のコーディネーター事業

予算額 2,051,000 円

【事業目的】

31 地区にそれぞれ担当者を置く地域担当制で個別訪問を行い、地域の情報収集や相談対応、提案等で各地区のコミュニティ活動及び市民活動の充実を図っていく。

【事業内容】

- ◆ 個別相談・訪問調査
- ◆ 周南市コミュニティ推進連絡協議会の支援
 - ◇ 役員会及び総会、各種事業の実施
 - ◇ 三団体合同事業の実施
- ◆ 地域資源を活用した活動への支援
 - ◇ 「しゅうなん地域マーケット」の企画運営
- ◆ 地域カルテ・団体カルテの作成
- ◆ 地域の夢プラン策定・実行支援
- ◆ ふるさと応援隊の支援

2. 人材育成・団体力強化事業

予算額 1,237,000 円

【事業目的】

地域課題の発掘や、その解決に向けた活動を推進していく力を持った人材を育成するとともに、団体運営に必要な基本的な知識・ノウハウを学び、活用できる人材を増やす。

【事業内容】

- ◆ 中長期的な人材育成講座の実施
 - ◇ 市民センター職員を対象にしたスキルアップ研修 等
- ◆ 個人や団体のスキルアップにつながる講座の開催
 - ◇ 情報発信力強化に関する講座、IT 活用講座、助成金説明会&相談会、

組織運営・コミュニケーションに関する講座 等

- ◆ 若者参画の推進・後継者育成支援
- ◇ 若い世代の地域参画について考える研修会 等

3. コミュニティ活動／市民活動への助成事業

予算額 3,481,000 円

【事業目的】

事業の規模に関わらず、課題解決に向けてプラン策定を行い、その事業を実施しようとしている団体に対し、プランの作成及び必要な資金を支援する。

【事業内容】

- ◆ 特色あるコミュニティ活動支援事業
- ◆ しゅうなん元気活動支援事業
- ◆ 伴走支援型助成プログラム

II つなぐ ～市民活動参加と協働への基盤づくり～

ふるさとづくり活動は、団体と団体、人と人が手を取り合って進めていくことが重要であり、それらを「つなぐ」ための事業として、各地域での取り組みをより効果的なものにするための基盤となる団体間のネットワークの強化や、さまざまな組織の協働の推進、活動参加への入り口としての寄付やボランティアの促進、子どもや青少年の健全育成の支援を行う。

1. ネットワーク形成・協働推進事業

予算額 6,902,000 円

【事業目的】

ふるさとづくり活動に取り組む団体間が信頼・協力関係を築き、単独の団体では困難な地域課題を解決していくための基盤となる、協働推進への取り組みを支援する。

【事業内容】

- ◆ しゅうなん市民活動フェスタの開催
- ◆ 団体の座談会・交流会の開催
- ◆ 協働に関する環境づくりの支援
- ◆ 市民活動支援センターの運営
- ◇ 「夏休みサマースクール」、「市民活動パネル展」等の開催

2. 寄付とボランティアへの参加促進事業

予算額 0 円

【事業目的】

ふるさとづくりなど、社会貢献活動への代表的な参加方法である「寄付」と「ボランティア」への理解を広げ、地域への参加の輪を広げる。

【事業内容】

- ◆ 寄付・ボランティア活動参加の普及
- ◆ 基金活用検討協議会（仮）の設置・運営

3. 自然体験を通じた子どもたちへの健全育成の支援事業

予算額 45,998,000 円

【事業目的】

自然や人とのふれあいを通して、これからのふるさとを担う子どもたちや青年の健全な育成を推進する。

【事業内容】

- ◆ 大田原自然の家の管理運営（指定管理期間2年：令和6～7年度）
 - ◇ 移転準備業務を周南市より受託
- ◆ 自然や人とふれあえる体験活動の提供
- ◆ 活動を通じた青少年ボランティアの学びの場づくり

III 伝える ～ふるさとづくり情報を知る機会づくり～

ふるさとづくり活動への参加の輪を広げていくためには、より多くの人に「ふるさと」に関する幅広い情報に触れてもらうことにより、はじめの一步へと背中を押すことが重要である。ふるさと周南について「伝える」ための事業として、インターネットや紙媒体などを通じて情報発信を行う。

1. ふるさとづくりに関わる情報発信事業

予算額 803,000 円

【事業目的】

様々な媒体を活用し、市内のコミュニティ活動／市民活動や財団の事業に関する情報に加え、地域の魅力を伝える情報を発信することで、周南市におけるふるさとづくり活動の周知・PR等を図り、活動への参加につなげる。

【事業内容】

- ◆ Web 媒体による情報発信
 - ◇ SNS 活用の強化（Instagram、LINE 公式 等）
- ◆ 紙媒体による情報発信
 - ◇ 地域活動・市民活動情報誌コネクトを活用した情報発信強化
- ◆ 各種メディアを通じた情報発信
- ◆ ふるさとづくり情報の収集とアーカイブ化